

同時多発的土砂災害を想定した 国・県・市等による合同演習を行いました。

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

全国において多発している大規模土砂災害が六甲山系で発生した際に、関係機関が迅速かつ適切に対応できるよう危機管理能力向上を目的に、台風及び梅雨前線接近による豪雨で大規模土砂災害が発生した場合を想定して、「同時多発的土砂災害を想定した合同演習(机上演習)」を実施しました。

概要

日時：平成30年11月8日(木) 13:00～17:00
 場所：神戸市立御影公会堂 ホール
 演習方法：実践形式を組み込んだ学習型方式
 参加機関：近畿地方整備局、六甲砂防事務所、神戸地方気象台、陸上自衛隊、兵庫県、兵庫県警察本部、神戸市、西宮市、芦屋市、宝塚市
 参加人数：49名

演習想定

- 災害誘因
 - ・台風及び梅雨前線接近による豪雨
- 災害現象
 - ・六甲山系(神戸・西宮・芦屋・宝塚の4市内)で、計32箇所(がけ崩れ・土石流)が同時多発的に発生
 - ・このうち、特に4箇所(がけ崩れ・土石流)を重点的にとりあげ、演習参加機関の対応を確認
- 演習内容
 - ・土砂災害発生後の初動対応から避難勧告等の解除対応までを4つのステージに分け実施
 - ・特に確認したい局面を実践形式で具体的に実施し、参加者全体でその内容を共有・確認

【演習の流れ】

- 1 初動対応ステージ
情報収集・対応方針、人命救助・避難対応
- 2 リエゾンによる情報共有対応ステージ
【実践形式①】
- 3 現地調査、監視・観測、応急対策ステージ
【実践形式②】【実践形式③】
- 4 避難勧告等の解除対応ステージ



学習型方式による演習状況



参加者の声

- ・今回の演習で、各機関の警戒避難の対応状況を見ることができて良かった。勉強になった。
- ・リエゾン、TEC-FORCEについて確認でき、より理解が深まった。
- ・各自治体の連携調整事項等が確認できた。引き続き、緊密に連携をとっていきたい。

講評

- ・兵庫県警、陸上自衛隊の方々にも参加頂いて非常に有意義なものになった。
- ・このような演習は続けていかなければ、本番の時に中々行動を取りづらいため、演習は毎年続けていきたい。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

